

# 2026年度

## ソーシャル・データサイエンス研究科での 学びについて



リンクを参照

学生便覧



「学生便覧（4/1 配布予定）を参照



Social Data Science

オンデマンドガイダンス

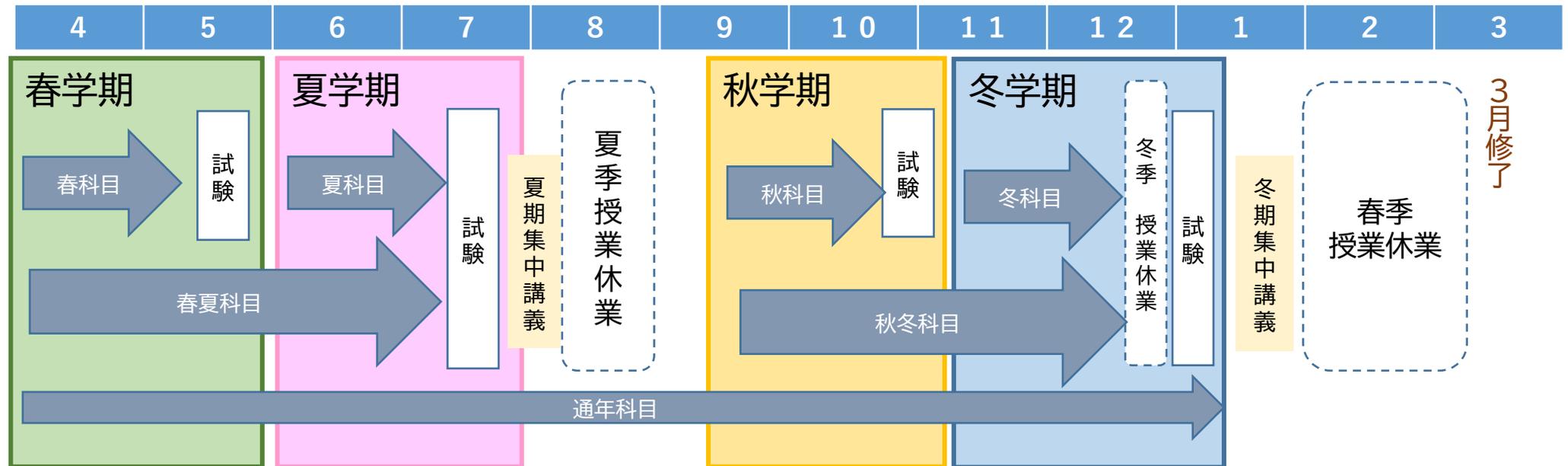
# I. 履修登録にあたり

本学に関する基本的事項をおさえましょう



# 1年間の流れ

一橋大学は4学期制となっていて、「[学年暦](#)」に沿って学修が進められる



# 授業時間

授業は、**105分**を1時限とする（1日6時限まで）

時限	時間
第1時限	8 : 4 5 ~ 1 0 : 3 0
第2時限	1 0 : 4 5 ~ 1 2 : 3 0
第3時限	1 3 : 1 5 ~ 1 5 : 0 0
第4時限	1 5 : 1 5 ~ 1 7 : 0 0
第5時限	1 7 : 1 0 ~ 1 8 : 5 5
第6時限	1 9 : 4 5 ~ 2 1 : 3 0

※第6限は原則としてライブ配信授業のみ実施

# SDS研究科 開講科目

本研究科の開講科目は[カリキュラム特性](#)を踏まえ複合的なものとなっている

## ■ 博士前期(修士)課程カリキュラム

1 年次	<b>ソーシャル・データサイエンス基礎科目</b> ■ ソーシャル・データサイエンス特論 ■ データサイエンスのELSI 単位 4単位(2科目)必修	<b>演習</b> 単位 2単位×4必修
	<b>データサイエンス科目</b> ■ 統計分析発展(実践) ■ 機械学習発展(実践) ■ 統計分析発展(学術) ■ 機械学習発展(学術) 単位 4単位(2科目)選択必修	
2 年次	<b>ソーシャル・データサイエンス発展科目</b> ● ビジネス・イノベーション分析科目 ■ 経済・ファイナンスデータの時系列分析 ■ ベイズ統計学によるマーケティング分析 ■ ビッグデータと指数理論 ■ 時系列ビッグデータの分析 ■ サービス工学 ■ DXイノベーション ■ 公的統計と指数理論 単位 ■ ビジネス・イノベーション分析科目 ■ 社会課題解決科目 各分野から最低 1科目の修得必須	<b>リサーチ・ワークショップ I・II</b> 単位 2単位×2 <b>研究指導 (修士論文執筆)</b> 単位 1単位×4必修
	ソーシャル・データサイエンス発展科目、リサーチワークショップから合計 <b>10単位</b>	

## ■ 博士後期課程カリキュラム

	講義	演習	研究指導ほか
1 年次	■ SDS 研究方法論 I 責任ある科学技術イノベーション(RRI) ■ SDS 研究方法論 II 研究開発マネジメント論	■ SDS アドバンスト・リサーチ・ワークショップ I	■ 副指導教員(2名)の選出 ■ 先行研究レビュー ■ 研究テーマの確定
		■ SDS アドバンスト・リサーチ・ワークショップ II	■ 適切な共同研究先の選定 ■ 共同研究のための準備
2 年次		■ SDS 共同プロジェクト演習 I	■ 共同研究のフォロー ■ 博士論文計画の作成
		■ SDS 共同プロジェクト演習 II	■ 博士論文計画の提出→承認
3 年次			■ 博士論文の執筆→学位申請書類の提出
			■ 博士論文審査

博士前期：[開講科目](#)

博士後期：[開講科目](#)

# SDS研究科の修了要件（博士前期課程）

2年以上在学し、30単位以上（演習8単位以上を含む。）、かつ科目区分ごとの修了要件単位数を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること

分野	科目	必修単位	履修年次
演習	演習	8単位	1, 2年次
	研究指導	4単位	1, 2年次
ソーシャル・データサイエンス基礎科目	ソーシャル・データサイエンス特論	2単位	1年次
	ソーシャル・データサイエンスのELSI	2単位	
データサイエンス科目	「統計分析発展(実践)」「機械学習発展(実践)」「統計分析発展(学術)」「機械学習発展(学術)」から2科目	4単位	1年次
ソーシャル・データサイエンス発展科目＋ リサーチワークショップ	ビジネス・イノベーション分析科目から2単位以上	合計 10単位	1, 2年次
	社会課題解決科目から2単位以上		
	リサーチ・ワークショップ		2年次

※上図は抜粋し再構成しているため、詳細は必ず「ソーシャル・データサイエンス研究科細則」で確認すること

# 時間割の作成

1年次必修科目の開講曜日時限を優先して、履修科目を決めていく

修了要件

分野	科目	必修単位	履修年次
演習	演習	8単位	1, 2年次
	研究指導	4単位	1, 2年次
ソーシャル・データサイエンス基礎科目	ソーシャル・データサイエンス特論	2単位	1年次
	ソーシャル・データサイエンスのELSI	2単位	
データサイエンス科目	「統計分析発展(実践)」「機械学習発展(実践)」「統計分析発展(学術)」「機械学習発展(学術)」から2科目	4単位	1年次
ソーシャル・データサイエンス発展科目+リサーチワークショップ	ビジネス・イノベーション分析科目から2単位以上	合計 10単位	1, 2年次
	社会課題解決科目から2単位以上		
	リサーチ・ワークショップ		2年次

イメージ

- シラバスで開講曜日時限を確認
- 履修登録期間に登録すること

時間割案

	1限目	2限目	3限目	4限目	5限目
月					
火	統計分析発展(実践)(春) 統計分析発展(学術)(夏)	SDS特論(春学期) DSのELSI(夏学期)			演習(春夏学期)
水	研究指導(春夏学期)				
木					
金	統計分析発展(実践)(春) 統計分析発展(学術)(夏)	SDS特論(春学期) DSのELSI(夏学期)			

\* 「機械学習発展」を取る場合は秋冬学期の履修登録となる

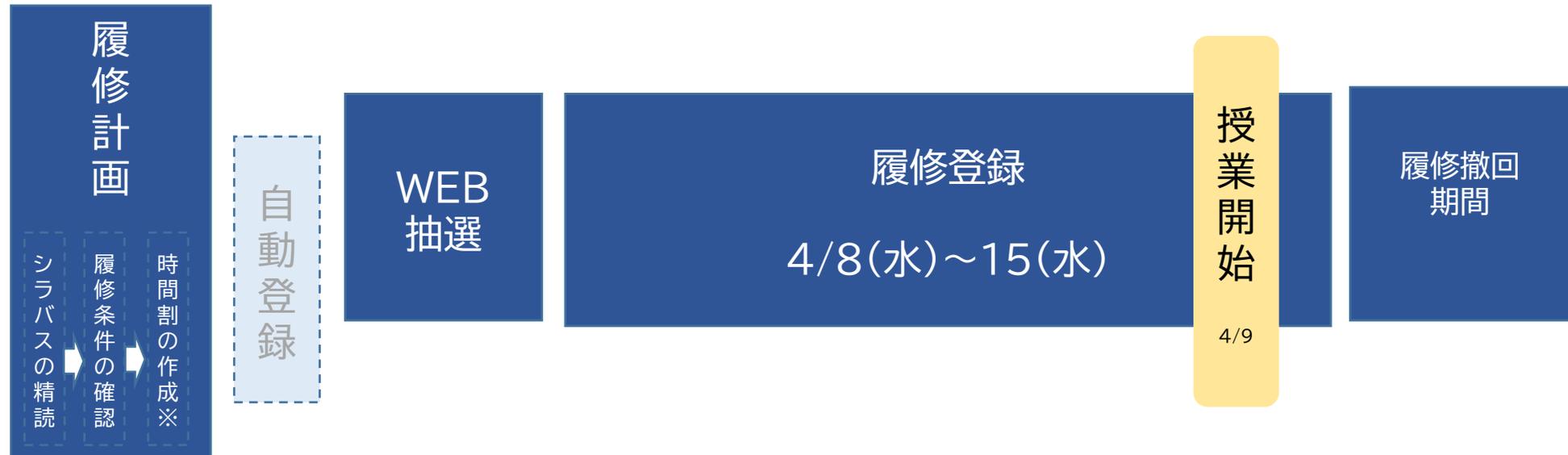
# 履修登録の流れ

学務情報  
システム

**CELS**  
CAMPUS EDUCATION LEARNING SYSTEM

！ 教務課のガイダンス  も確認のこと

学年暦で決められた履修登録期間に履修科目をCELSで登録する



# 履修モデル①（博士前期）高度専門職業人材

## GOALイメージを踏まえて履修科目を設定

科目区分		修了要件	
【事前教育プログラム】 ソーシャル・データサイエンス・ ブートキャンプ		単位	2年以上在学し、 <u>30単位以上</u> （演習・研究指導 12 単位以上を含む※）修得し、かつ、 必要な研究指導を受けたうえで、 <u>修士論文の審査</u> 及び <u>最終試験に合格</u> すること ※かつ、科目区分ごとの修了要件単位数を満たすこと
			1 年次
ソーシャル・データサイエンス研究科 教育科目	ソーシャル・データサイエンス 基礎科目	4 単位 以上	●ソーシャル・データサイエンス特論 ●データサイエンスのELSI
	データサイエンス 科目	4 単位 以上	●統計分析発展(実践) ●機械学習発展(実践)
	ソーシャル・データサイエンス 発展科目	10 単位 以上 必修	サービス工学 DXイノベーション
	イノベーション・ 分析科目 社会課題 解決科目		超高齢社会と科学技術 認知社会シミュレーション 技術と法
	リサーチ・ ワークショップ		
演習科目	12 単位 以上	●演習 ●研究指導(修士論文)	●演習 ●研究指導(修士論文)
30 単位 以上		【修士論文テーマの例】高齢化社会における最適な交通システムの在り方	

●…必修

# 履修モデル②（博士前期）複合的学問領域の研究人材

## GOALイメージを踏まえて履修科目を設定

科目区分		修了要件	
【事前教育プログラム】 ソーシャル・データサイエンス・ ブートキャンプ		単位	2年以上在学し、 <u>30単位以上</u> （演習・研究指導 12 単位以上を含む※）修得し、かつ、 必要な研究指導を受けたうえで、 <u>修士論文の審査</u> 及び <u>最終試験に合格</u> すること ※かつ、科目区分ごとの修了要件単位数を満たすこと
			1 年次
ソーシャル・データサイエンス 教育科目	ソーシャル・データサイエンス 基礎科目	4 単位 以上	●ソーシャル・データサイエンス特論 ●データサイエンスのELSI
	データサイエンス 科目	4 単位 以上	●統計分析発展(学術) ●機械学習発展(学術)
	ソーシャル・データサイエンス 発展科目	10 単位 以上 必修	経済・ファイナンスデータの時系列分析 時系列ビッグデータの分析
	イノベーション・ 分析科目 社会課題 解決科目		空間情報を用いた社会・経済分析
	リサーチ・ ワークショップ		リサーチ・ワークショップ I リサーチ・ワークショップ II
演習科目	12 単位 以上	●演習 ●研究指導(修士論文)	
30 単位 以上		●演習 ●研究指導(修士論文)	
【修士論文テーマの例】地域別の経済動向が事業所を全国展開する企業の株価に与える影響			

●…必修

# SDS研究科の修了要件（博士後期課程）

3年以上在学し、16単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すること

分野	科目	必修単位	履修年次
研究指導	SDS研究指導A SDS研究指導B SDS研究指導C SDS研究指導D	6単位	1, 2, 3年次
講義	SDS研究方法論Ⅰ SDS研究方法論Ⅱ	2単位	1年次
演習	SDSアドバンスト・リサーチ・ワークショップⅠ SDSアドバンスト・リサーチ・ワークショップⅡ	4単位	1年次
	SDS共同プロジェクト演習Ⅰ SDS共同プロジェクト演習Ⅱ	4単位	2年次

※上図は抜粋し再構成しているため、詳細は必ず「ソーシャル・データサイエンス研究科細則」で確認すること

## 履修モデル（博士後期）

学期	講義	演習	研究指導 ほか
D1	春夏	• SDSアドバンスト・リサーチ・ワークショップ I	• 副指導教員(2名)の選出 • 先行研究レビュー • 研究テーマの確定(プレFDプログラムの受講)
	秋冬	• SDSアドバンスト・リサーチ・ワークショップ II	• 適切な共同研究先の選定 • 共同研究のための準備
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 春夏学期に、研究遂行上必須となる「責任ある科学技術イノベーション(RRI)」と、研究開発マネジメント能力を育成する「研究開発マネジメント論」を、SDS分野の研究方法論として学ぶ。また、1年を通じてSDSアドバンスト・リサーチ・ワークショップに参加し、国際的なSDS研究の最先端の状況を識るとともに、自身の研究を報告することで学術コミュニケーション能力を身につける。また、学生のキャリア計画をふまえ、必要に応じてプレFDプログラムの受講を推奨する。</li> <li>• 研究指導では、指導教員・副指導教員との密なコミュニケーションの下で、研究テーマの確定、先行研究レビューや、2年次の共同プロジェクト先の選定とその準備を行う。</li> </ul>			
D2	春夏	• SDS共同プロジェクト演習 I	• 共同研究のフォロー • 博士論文計画の作成
	秋冬	• SDS共同プロジェクト演習 II	• 博士論文計画の提出→承認
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1年を通じて民間企業・公的セクターとの共同プロジェクトに参加して、1年次の学修内容を実践し、同時にSDS分野の最先端の知識を身につける。</li> <li>• 研究指導では、共同プロジェクト演習のフォローを行うとともに、博士論文計画の作成から提出・承認までを行う。</li> </ul>			
D3	春夏		• 博士論文の執筆→学位申請書類の提出
	秋冬		• 博士論文審査
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 主に研究指導を通じて研究を進め、博士論文を完成させる。</li> </ul>			

# 評価方法と成績

一橋大学大学院ソーシャル・データサイエンス研究科細則



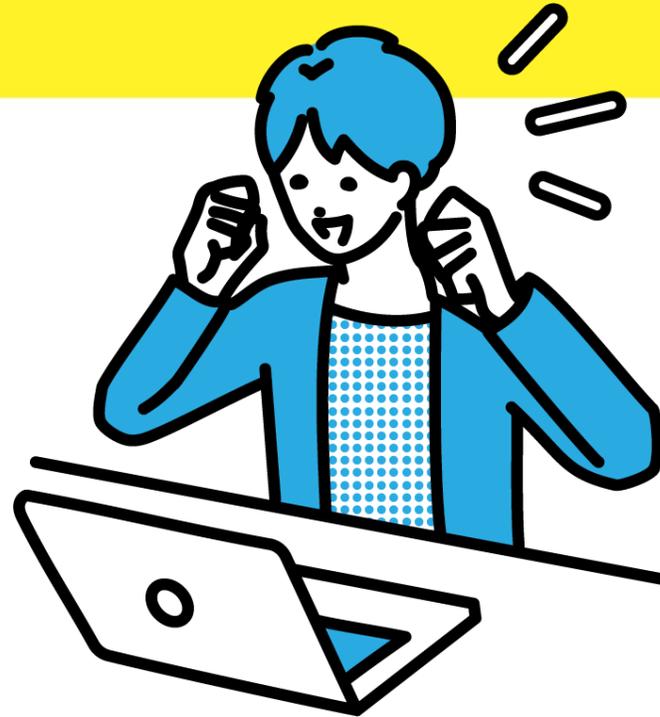
GPAには「演習」などE / F 評価科目は算入しない

- 成績評価方法 : [シラバス](#)  参照
- 試験日、成績発表日 : [学年暦](#)  参照
  - ・試験は教場試験やオンライン試験、レポート提出、平常点など
- 成績と GPA (Grade Point Average) : [大学院GPA制度に関する要項](#)  参照

評価	GP
A+ (到達目標を達成し、極めて優れている Outstanding)	4.3
A (到達目標を達成し、特に優れている Excellent)	4
B (到達目標を達成し、優れている Good)	3
C (到達目標を達成し、合格水準に達している Satisfactory)	2
F (到達目標を達成していない。不合格 Non-Completion)	0

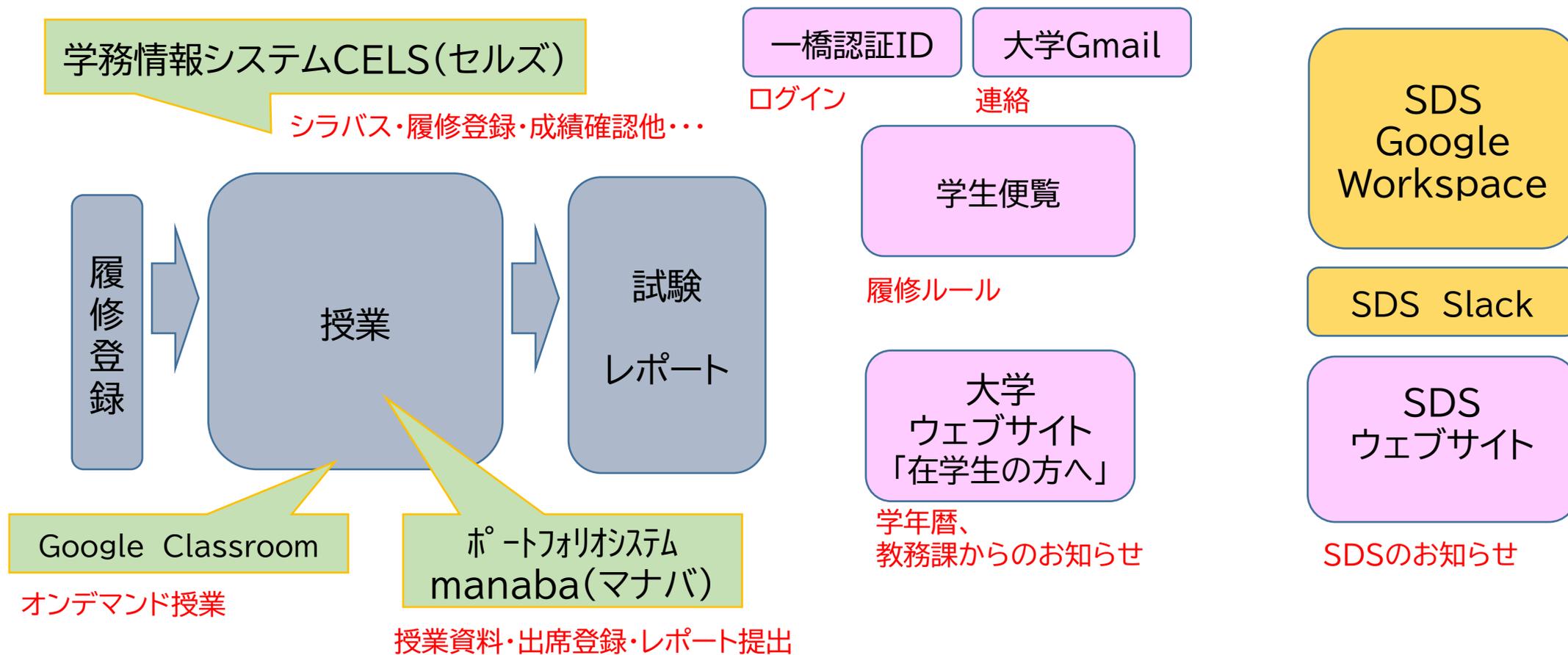
## Ⅱ. 学びを支えるツール

情報提供ツール、学修の際活用するツールを把握しましょう



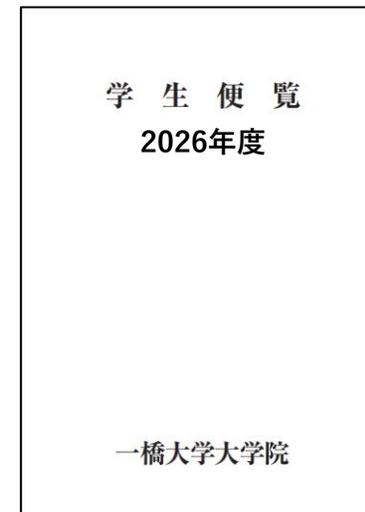
# 学修に必要なツール

情報提供や学習の補助ツールは多岐にわたるので、主体的に確認すること



## ■学生便覧（4月1日ガイダンスで配布）

履修ルールや規則、手続きなどをまとめて  
掲載している冊子  
関連する箇所は精読すること



## ■大学Webサイト 在学生の方へ

教務課からの連絡・学年暦の確認

<https://www.hit-u.ac.jp/students/index.html>



The screenshot shows the Hit University website with the 'For Students' (在学生の方へ) link highlighted in the top navigation bar. A callout box points to this link, containing the text '在学生の方へ' and '研究科・学部' and '研究所'.

## ■学務情報システム CELS

シラバス検索・閲覧、履修登録、期末試験、成績確認など授業にかかわる情報の確認や手続きをする学修システム。

休講情報やお知らせの掲示、

教務資料のダウンロードも可能

<https://cels.hit-u.ac.jp/>



大学ウェブサイト  
にあるバナーからログイン



スマートフォン画面の例

## ■ 一橋認証ID

\* 4月1日のガイダンスで交付される通知書（はがき）でユーザーIDとパスワードが通知される

IDは本学の各種情報システムの利用（ログインなど）に必要（在学中使用する）

初期パスワードは変更し、その後は自身で管理すること

一橋認証IDをはじめ、大学の情報環境利用の詳細は、「[情報環境利用案内](#)」を確認してください

[https://cio.hit-u.ac.jp/ISMH/ict\\_guide](https://cio.hit-u.ac.jp/ISMH/ict_guide)

## ■ 大学Gmail

研究教育の目的で「@g.hit-u.ac.jp」のメールアドレスとメールシステム（Gmail）を利用できる 大学からの連絡があるのでこまめにチェックすること

初期設定については[こちら](#)を参照 情報基盤センター「システムの利用について」 <https://cc.hit-u.ac.jp/gsuite>

## ■ 1284Wireless（無線LAN）

大学内に無線LANを使用できる場所を提供 一橋認証IDで設定

初期設定については[こちら](#)を参照

## ■ Microsoft 365 Apps for enterprise (Office 365)

Office アプリケーションの最新版(Word, Excel, PowerPoint)のインストールが可能  
初期設定については[こちら](#)を参照

## ■ポートフォリオシステムmanaba

履修中の科目において、出席確認、資料のダウンロード、レポート提出などを行うクラウド型教育支援サービス

<https://manaba.hit-u.ac.jp/> 



## ■Google Classroom

履修登録したオンライン（授業）科目等の動画コンテンツの視聴や資料の確認が可能



## ■ SDS ウェブサイト

SDSのニュース、教員の研究などの情報発信

<https://www.sds.hit-u.ac.jp/> 



## ■ SDS Google Workspace

SDS 学部内のデータ共有や一部のWeb サービス にて利用する Google アカウント

\* SDSから独自のGoogleアカウントを付与

## ■ SDS学部・研究科Slack

SDS生と教員、職員で使うコミュニケーションアプリ

\* SDSアカウントのGmailで招待

\* 自己紹介, 学術イベントやインターンの告知、

親睦会や一橋祭、勉強会についての議論などに使用



## Ⅲ. 学び、学生生活の支援

大学生活をささえる仕組みや関連部署を確認しましょう



# 奨学金制度

各種経済支援（貸与型／給付型）あり 募集内容や手続きを確認のこと  
詳細は[こちら](#)  から 申込窓口：学生支援課 奨学事業係

## 【主なもの】

- ・日本学生支援機構（JASSO）の貸与奨学金
- ・一橋大学学内奨学金、民間奨学団体・地方公共団体の奨学金など
- ・授業料免除・徴収猶予
- ・一時金貸付制度



# 相談窓口

大学ウェブサイト「[在学生の方へ](https://www.hit-u.ac.jp/students/index.html)」に各種リンクあり  
<https://www.hit-u.ac.jp/students/index.html>

## SDS事務室

学修に関する  
相談全般は  
SDS事務室まで

履修 証明書

## 学生支援課 学生サービス係

課外活動 忘れ物

## キャリア支援室

就職活動

## 教務課 教務係(学務担当)

学生証 証明書

## 学生支援課 奨学事業係

奨学金

## 学生相談室

相談全般

## 教務課 留学支援係

留学

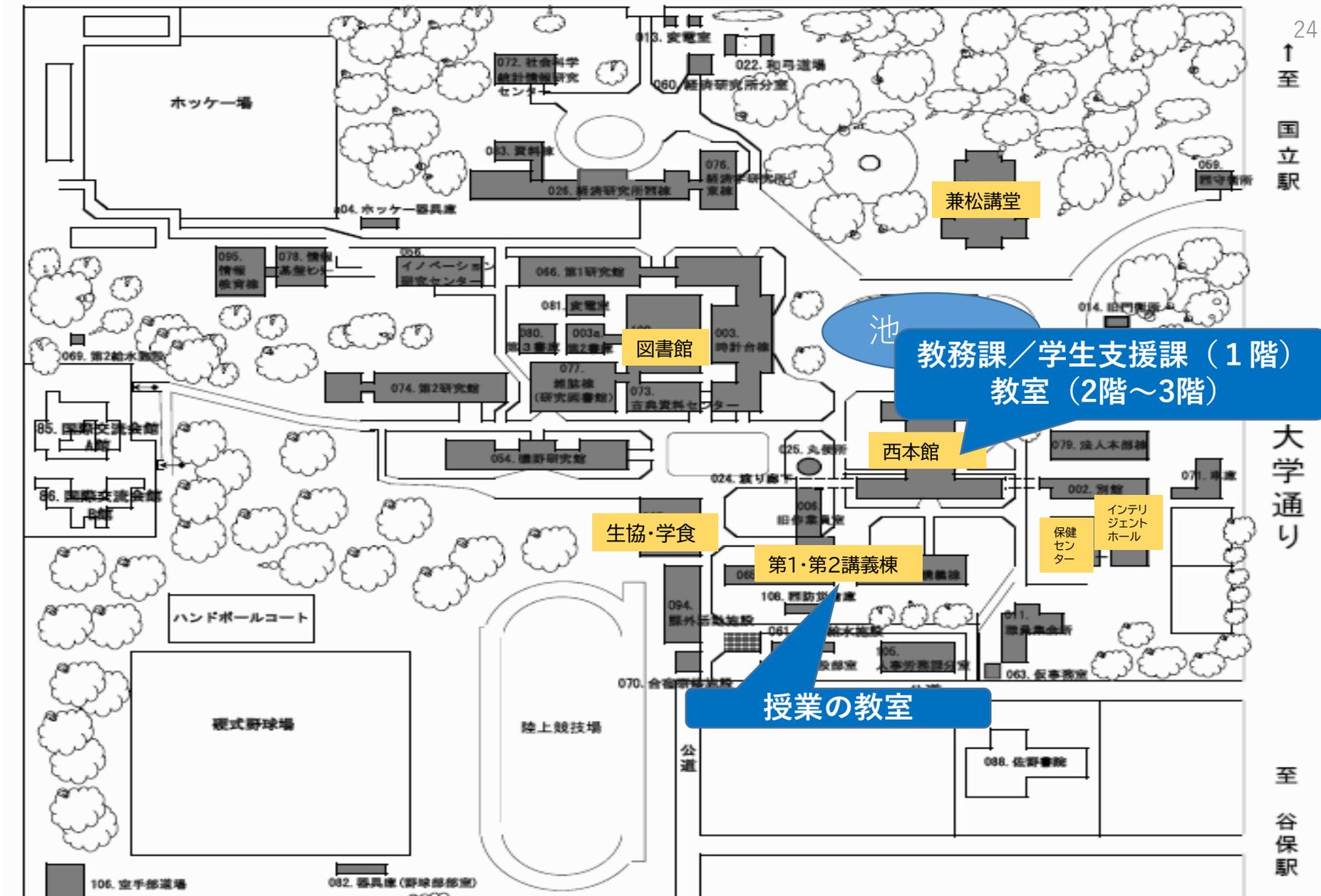
## 学生支援課 学生生活係、宿舍管理係

アルバイト  
学生寮

## 保健センター

健康相談

# 西キャンパス

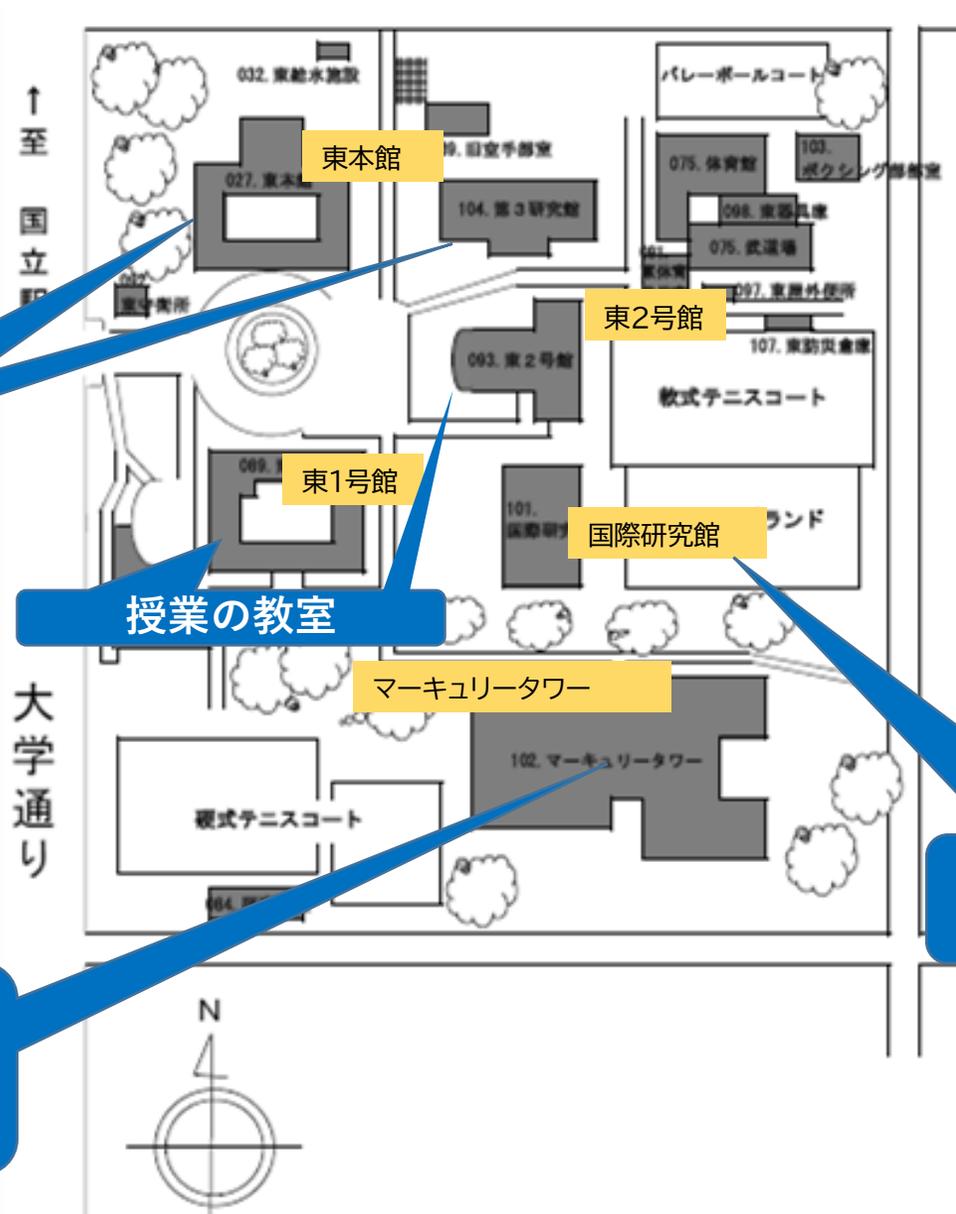


# 東キャンパス

教員の研究室  
(1~2階)

授業の教室

プロジェクト研究室  
院生の学習室  
院生自治会など



SDS事務室  
(1階)

# 2026年度SDS研究科ガイダンスのご案内

日時：2026年4月1日（水） 16：30～17：30  
東キャンパス 東2号館 2301番教室

- \* 15:50～受付開始 16:20までに受付を完了し、着席してください
- \* 「学生証」を配布しますので、受験票と写真付きの本人確認書類（運転免許証、マイナンバーカード、在留カードなど）を受付で提示してください
- \* 冊子などの配布がありますので、大き目の袋と筆記用具を持参してください

- ・履修登録にあたり押さえるポイント
- ・演習や学位論文について
- ・学生生活の注意点 など

**必ず出席してください**